




えと たつ
2024年の干支は辰年です

辰とは龍^{りゅう}のことで、十二支の中では唯一想像上の動物です。

中国を起源とする十二支に、なぜ実在しない龍が割り当てられたのかの理由はわかりません。そもそも龍ってなに？ 東洋の龍と西洋のドラゴンって違うの？ ということで、調べてみました。



東洋の龍		西洋のドラゴン
 <p>ヘビのように長い体に4本の脚がある。 翼はなく、尾の先端に羽毛のような毛がはえ、うろこは大きい。 寿命は1000年以上といわれる。</p>	<p>体の特徴</p>	 <p>体は筋肉質で、胴体に一對の大きな翼がある。 脚は2本。 尾の先は矢じり型になっている。</p>
<p>水中に棲み、必要な時は翼がなくても飛翔することができた。</p>	<p>棲み処</p>	<p>地中や洞窟の中に棲み、隠された財宝を守護すると考えられていた。</p> 
<p>中国では、龍は瑞兆^{ずいちよう}（良いことが起こる前兆）とされている。黄帝^{こうてい}（古代中国の伝説の王）は龍の子孫といわれている。</p>	<p>人間にとって</p>	<p>巨大な霊力を持つドラゴンを打ち破ることで、人間の英雄性を高めていた。そのためドラゴンを倒すことが英雄伝説の必須条件となっていた。</p>



「ドラゴンクエスト」や「ダンジョンズ&ドラゴンズ」で、ドラゴンがラスボスの理由はこれだったのです。他にも、なぜ西洋のドラゴンに羽があるのか？ 面白い考察がありました。ドラゴンはもともと今のドラゴンの姿ではなく、天使が天界から墮ちて、悪魔のひとつであるドラゴンになったという説です。元が天使だった名残で、羽があるということですね。

昔から、自然の威力^{いりよく}は人類にとってとてつもない脅威^{きょうい}でした。

火山の噴火や地震、台風などの自然現象を、雨を降らせたり、火を噴いたり、翼をはためかせて風を起こしたりという、龍やドラゴンの能力と考え、おそれてきたのでしょう。

ところで、2024年の辰年^{きのえたつ}（甲辰）は新しいことを始め行動を起こすタイミングにぴったりな年とのこと。何か新しいことを始めるといいですね。

<参考文献> 『ドラゴンの教科書』 ダグラス・ナイルズ 著 高尾 菜つこ 訳 原書房
『ドラゴン学総覧』 ドウガルド・A・スティール 編 三枝 明子 訳 今人舎
『龍の文明史』 安田 喜憲 編 八坂書房